

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 1項 農業費
 1目 農業総務費

農政課(内線:7255)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
農林水産物環日本海 圏貨客船航路活用販 路開拓事業	6,000	0	6,000				6,000	
トータルコスト	10,841千円(前年度 0千円)[正職員:0.6人]							
主な業務内容	補助金事務、補助金支出先団体との連絡調整、業務実施(運営、作業等)など							
工程表の政策目標(指標)	農産物販売額1,000万円以上の農家数 (H17センサス 850戸→H22センサス 1,000戸超)							

事業内容の説明

1 事業目的・概要

環日本海圏貨客船航路を活用することにより、本県の安全・安心で高品質な農林水産物・加工品の販路を開拓し、本県農林水産業の活性化に繋げる。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
《航路利用農林水産物輸出促進補助金》 本県産農林水産物・加工品の輸出促進のために行う活動に対し、支援を行う。 【支援対象】 航路を利用した海外販路拡大のために要する経費 ○テスト輸出 ○バイヤー商談会 ○展示会 ○マーケティング調査委託 ○輸出を意識したパッケージデザイン ○海外向けパンフ・リーフレット ○販売促進資材(幟、法被等) ○輸出に係る各種認証手続の取得等 【事業実施期間】 平成21年度～22年度	農林水産業団体、流通業者等	9,000	6,000	県 2/3
計		9,000	6,000	

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】

*農家数の把握は平成22年農林業センサス(5年毎の統計情報)で把握する予定

<取組>

- ・7月 ロシア向けすいかテスト輸出と販売促進の実施(ウラジオストク、サハリン 1コンテナ)
- ・9月 ロシア向け二十世紀梨テスト輸出と販売促進の実施(ウラジオストク 1コンテナ)

<自己分析>

- ・ジャパンプレミアムとして鳥取の農産物の高品質が高く評価された。
- ・DBS航路により鮮度の高い輸送が行え、品質評価を高めた。

<改善点>

- ・H22年度は、貨物量の増を図るため、他県農産物及び加工品について混載等を調整、検討する。